



校長として岩国市内の中学校2校で、CSと地域協育ネットに取り組み、退職後CSコンダクター、地域連携教育アドバイザー、地域連携教育エリアアドバイザーとしての取組が5年目になります。岩国市では、それぞれの地域の特色を生かしたCSや協育ネットの取組が進んでおり、その好事例を掲載した「岩国・和木CSだより」を毎週発行し、市内の教職員全員に広く情報発信しているところです。今後も子どもたちの困り感の解消等に向けて、一緒に取り組みたいと思っています。

岩国市の推進構想

(1) 岩国市における事業概要

◆「岩国市コミュニティ・スクール(以下CS)・地域協育ネット推進協議会」の設置

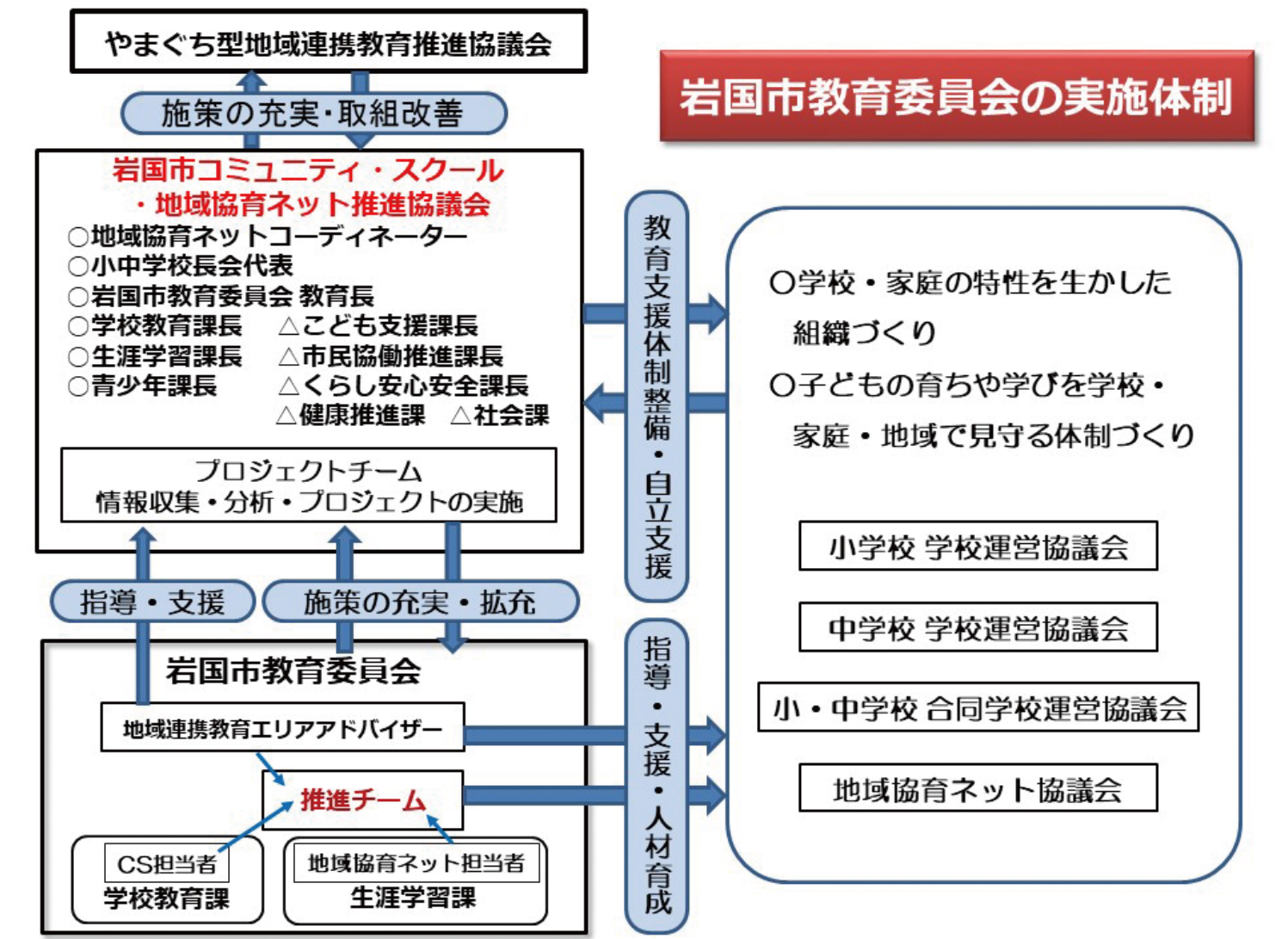
- 目的 岩国市内各小・中学校のCS及び各中学校区の地域協育ネットの円滑な運営及び充実を図る。
- 構成
 - ・地域協育ネット協議会コーディネーター(15名)
 - ・小中学校校長会長
 - ・教育委員会関係(教育長、学校教育課長、青少年課長、生涯学習課長、地域連携教育エリアアドバイザー、CS担当、地域協育ネット担当)
 - ・首長部局<平成29年度から>(こども支援課、市民協働推進課、くらし安心安全課、健康推進課、社会課)
- 内容
 - 全県の施策の共通認識、地域の課題把握・改善、地域コーディネーターの資質向上



◆「地域連携教育エリアアドバイザー」の配置

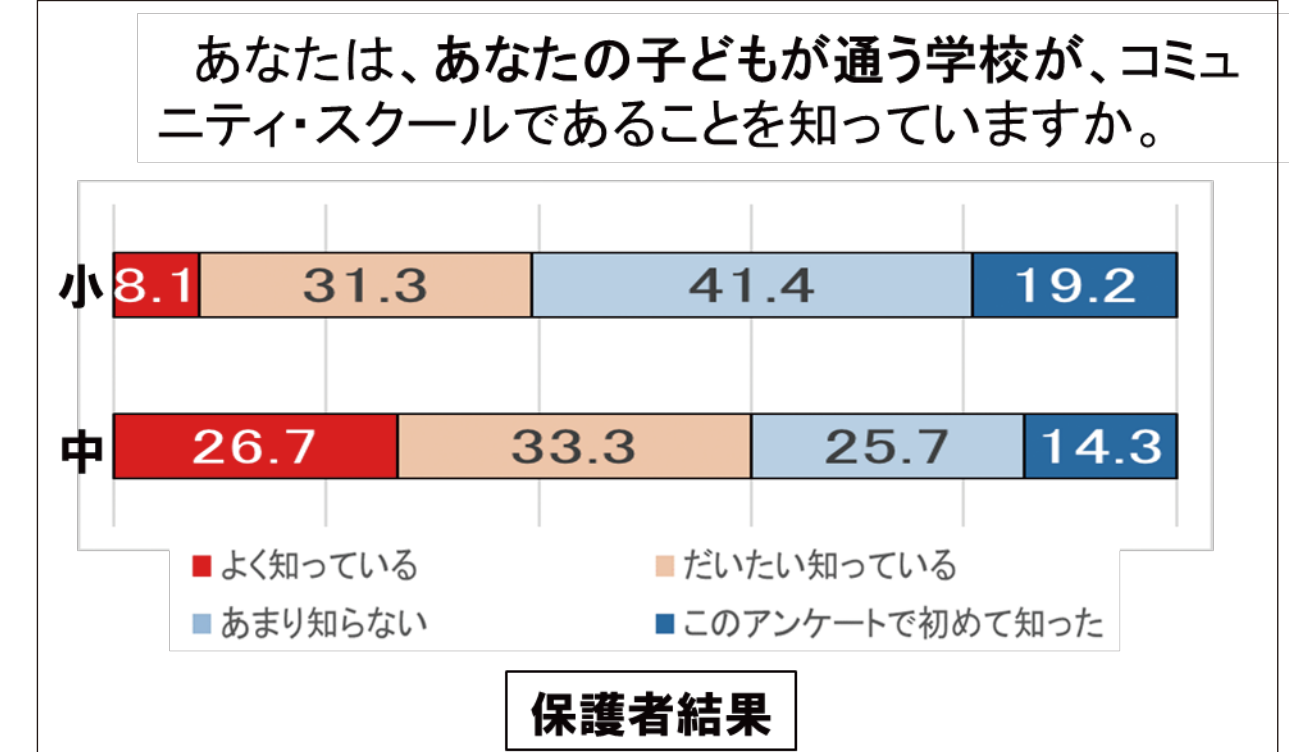
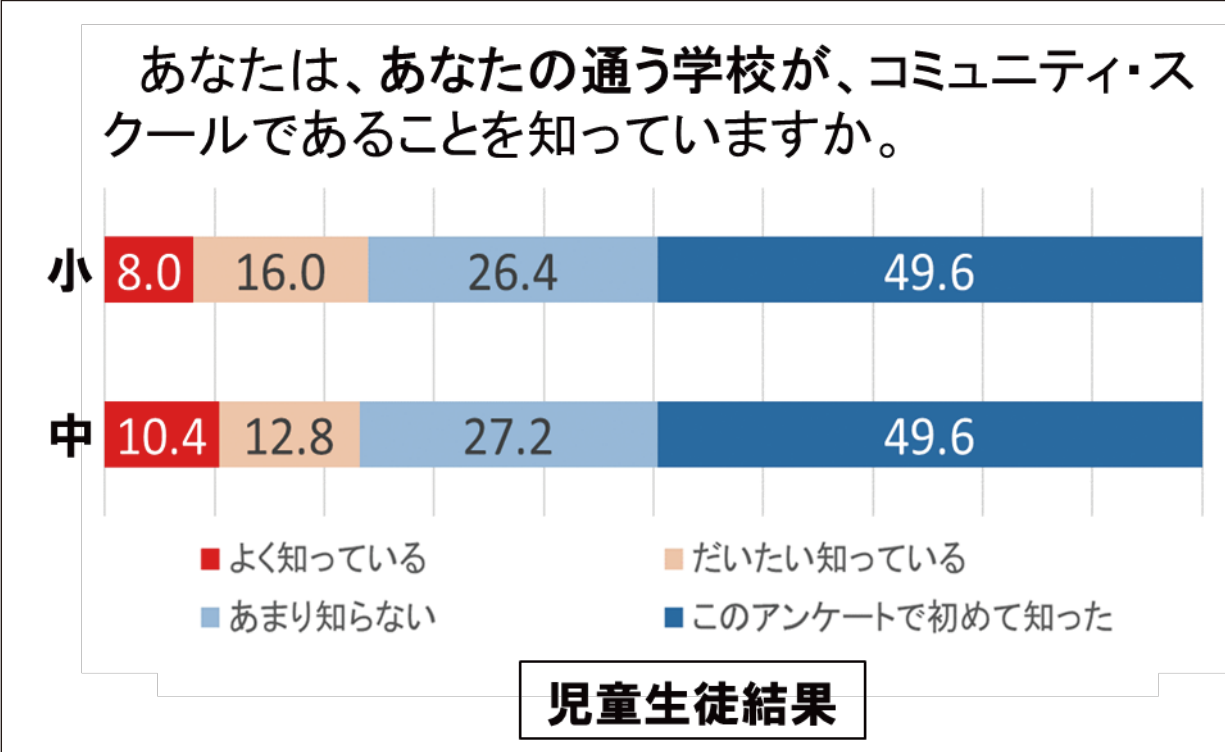
- 各学校運営協議会や小・中合同の学校運営協議会の指導・支援による、CSの取組等の充実
- CSの3つの機能(学校支援・学校運営・地域貢献)の充実に向けた取組への支援
- 岩国市CS・地域協育ネット推進協議会への指導・支援
- 推進チームによる学校への訪問支援
- 「岩国・和木CSだより」の発行(CSと地域協育ネットについて、市内小中学校の好事例の紹介、参加した研修会等の復伝、CSに関する意識調査結果の報告等)
- 「山口地域連携教育アドバイザー連絡会」、「CS、地域協育ネット担当者との合同会議」等への参加
- 「やまぐち地域連携教育推進フォーラム」及び「やまぐち地域連携教育の集い(東西2地域)」への参加
- 学校教育課、生涯学習課、市長部局との連携推進

(2) 事業の実施体制



(3) 岩国市における「成果」と「課題」

- 【成果】**
- CSと地域協育ネットを一体的に捉え、段階的な取組を継続することにより、システムの柔軟な運用・活用が可能となり、小中一貫教育の取組にもつなげることができている。
 - 学校教育課と生涯学習課との連携や、校長会、県教委との連携、さらには首長部局との連携等、ネットワークが構築されてきた。
- 【課題】**
- 児童生徒への発達段階に応じたCSの周知
自分たちの通う学校がCSであることを知っているかという調査項目について、児童生徒の7割以上が「知らない」と回答しており、保護者の理解も4割程度にとどまっている。
 - 管理職の意識の向上 各校の取組の質と水準を向上させるために、管理職の意識を向上させる必要がある。



※「「やまぐち型地域連携教育」の取組による成果検証に係る調査 報告書(平成31年3月)」より(岩国市の結果)

(4) 「課題」解決に向けた重点取組事項

- (1)子どもと大人がつながる場の設定の奨励と好事例の紹介
(例)岩国西中学校区「大人と子どものディスカッション」で話し合われた、3校(2小1中)での合同運動会の実現
- (2)管理職等による、取組の目的や意義を説明する場の設定
(例)「CSの仕組みを生かした学校運営」に関するプレゼン資料を作成し、学校運営協議会や全校集会等で説明
- (3)学校評価や授業評価、地域連携や小中一貫教育に関するアンケートの中に、「児童生徒の変容」や「取組内容の適切度」等が確認できる項目を設定
(例)全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙、学校質問紙と関連付けた取組を推進
- (4)岩国市CS・地域協育ネット推進協議会と教職員等との合同研修会の実施

(5) 重点取組事項を測る指標

- ・学校評価等のアンケート
- ・学校・地域連携カリキュラムの作成数

岩国市立杭名小学校、河内小学校、岩国西中学校

子どもと大人がつながる場



岩国西中学校校区の小中生や地域、学校、保護者の代表が一堂に会して地域の良さや課題等について話し合う「大人と子どものディスカッション」を毎年行っています。

岩国市立杭名小学校、河内小学校、岩国西中学校

子どもと大人がつながる場



前年度の「大人と子どものディスカッション」で出されたアイデアをもとに、初めての「3校合同運動会」が実現しました。子どもたちや保護者、地域の方にも好評でした。

岩国市立麻里布中学校

子どもと大人がつながる場



2年生を対象に行う「立志式」を学校運営協議会主催の地域行事として開催し、子どもたちの成長を地域住民・保護者・教職員とともに祝福する式となっています。

岩国市立米川小学校

子どもと大人がつながる場



岩国徴古館の学芸員2人に来校してもらい、博学連携授業「古銭を見て、調べて、作ってみよう」を実施し、古銭作りに挑戦しました。

岩国市立神東小学校

取組の目的や意義への理解を深める場



参観日に児童、保護者、地域の方へ「CSの仕組みを生かした学校運営」について説明し、理解を深めてもらいました。

岩国市立修成小学校

取組の目的や意義への理解を深める場



校長がプレゼン資料を使って全校児童にCSの役割について説明することで、自分たちが地域のためにどのようなことができるかを主体的に考える機会を作っています。

岩国市CS・地域協育ネット推進協議会と教職員との合同研修会

関係者のマネジメント力を向上する場



「くらかけネット(玖珂地域協育ネット)」の取組について、大上会長による実践発表が行われました。

岩国市CS・地域協育ネット推進協議会と教職員との合同研修会

関係者との連携を深める場



各学校の地域連携担当教員の研修に、今年度は地域協育ネット協議会コーディネーター、教育委員会関係者、首長部局関係者が加わって、一緒に熟議を行いました。